

みんなで考える家庭ごみ減量会議提言書報告会結果

【結果概要】

- ・提言書が委員の皆さまから町および町民へ提出された。
- ・提言書を受けて、どのように行動していくか。「みんなで」とは誰かではなく「自分ごと」として町全体が動いていくにはどのようにするべきか、議論を行った。

【会議内容】

- 1 日時 3月12日(土) 9時30分～12時00分
- 2 場所 琴浦町役場分庁舎 2階多目的ホール
(琴浦町赤碕1140番地1)
- 3 参加者 町民24名(うち12名出席、12名欠席)、企画政策課、構想日本
- 4 手交式

会議参加者から町長へ提言書の手交を行った。町民と行政が一体となって動いていくことが重要。

5 全体協議

①今後の動きについて

- ・家庭ごみについてより深く考えていく場として、「琴浦環境アクションチーム(仮称)」を結成する。委員の皆さまも概ね賛同。
- 広く広報をし、今回会議のメンバーを中心としたチームを結成する見通し。

②琴浦環境アクションチーム(仮称)で行っていききたい取組みは？

(以下、意見抜粋)

- ・小・中学生でも読んでわかるような「概要版」の提言書を作成する。
- ・興味の無い方にも振り向いてもらえるような、分かりやすいキャッチフレーズ、キャラクター、イメージソングなどの作成をする。
- ・メンバーが主体的に広報に出演する。
- ・企業とコラボレーションをし、一緒にごみ問題について考えていく。
- ・こども園、小学校など、こどもたちを巻き込む。(家庭へ広がっていく)
- ・施設見学をもっと多くの方に(ごみ処理施設行くことで、気づくことがあるはずである)
- ・先進地ツアーを行う(旅費は自分持ちで)

↓会議の様子



↓提言書が委員の皆さまから町長へ手交された

